



学校だより
第19号

花っ子

那覇市立垣花小学校
校長 宮城 弘之
令和3年1月29日

教育目標「夢と希望を育み どの子も楽しく学び 生き生きと活動する垣花っ子の育成」

“青森りんご出前授業”

1月19日（火）は、青森県及び沖縄協同成果（株）の関係者を招いて「青森りんご出前授業」を5、6年生対象に行いました。

講師の野宮さんは、青森県はりんご生産日本一であること、日本で一番作られている「ふじ」をはじめ「王林」「つがる」「ジョナゴールド」など、青森県のりんごには多くの品種があることを紹介していただきました。また、りんご農家は剪定（せんてい）、肥料やり、受粉、袋かけ、玉まわしなど収穫までに一年かけてそのほとんどが手作業であることもお話し、とても苦労してりんごを作っている農家さんを想像しながら「りんご」を美味しく食べてほしいと語りかけました。授業終了後は、児童全員にりんごが提供され、花っ子の皆さんも大変喜びました。

りんご出前授業を通して、生産者に感謝する心を醸成する「食育」に繋がっていきたいと思います。



“キャリア教育（ライフプラン）特設授業”

1月19日（火）は、保険会社（ソニー生命）の横山さん、外間さん（華琉さんの父親）のお二人をお招きし、6年生を対象に「キャリア教育」に関する特設授業を行いました。

講師の横山さんは、「人生を楽しく有意義に生きるためには“計画”がとても大切である」とお話し、児童は自分の人生設計を立てる“ライフプラン表”の作成に挑戦しました。高校（大学）入学、就職、結婚、子ども、住宅、旅行、趣味など、自分が将来やりたいこと、夢を実現させるために具体的に将来をイメージするなど、とても真剣な眼差しで講話を聴き、演習（ライフプランニング）に取り組みました。横山さん、外間さん、ありがとうございました。

学校では今後もコロナ対策を施しながら地域人材を活用した「キャリア教育」を推進してまいります。



“学校医（玉城先生）特設授業”

1月21日（木）は、学校医の玉城研太郎先生（那覇西クリニック）を招聘し、「小学生だから考えよう 健康長寿そしてがんのお話し～皆さんの夢と希望に満ち溢れたワクワクの未来へ～」のテーマで6年生を対象に特設授業が行われました。

玉城先生は、沖縄県がかつて「長寿県日本一」であったが、2010年から（現在、女性7位、男性36位まで下落）後退の一途をたどってきているとお話しがありました。長寿県日本一復活のためにも昔から食べられてきた沖縄伝統食など栄養や運動、睡眠の大切さを訴えました。また、生活習慣病やがんなどは「健康診断」を積極的に受診し、病気の早期発見、早期治療が重要であることも話されました。

研太郎先生は、子どもたちへ、夢と希望に満ち溢れた未来に向けて、力強くエールを送ってくださいました。ありがとうございました！

ご理解とご協力を！

現在、「新型コロナウイルス感染症への対応に関する留意事項について文部科学省通知（R3.1.8）」を受けて児童同士が近距離で活動する教科（音楽・体育・図工・理科など）で感染リスクの高い教育活動を一時的に停止や制限を施して授業等を行っています。緊急事態宣言の解除まで、子どもたちに不便を強いることとなりますが、感染防止を最優先にした対応ですので、保護者皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

コロナウィルス感染防止対策（マスク着用・手洗い・3密の回避）の徹底を心がけましょう！